



公益社団法人 日本観光振興協会
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION

NEWS RELEASE

報道関係者各位

平成 31 年 4 月 24 日

公益社団法人日本観光振興協会

DMO 推進室 担当:北島

TEL:03-6435-8336 FAX:03-6435-6921

地域ブランド創造部 担当:森崎

TEL:03-6435-8550 FAX:03-6435-6921

DMO の新たな取り組みを支援！ DMO 形成支援事業 支援地域の決定

公益社団法人日本観光振興協会（本部：東京都港区 会長 山西 健一郎）は各地域で DMO（Destination Marketing/Management Organization）の形成が進む中、各地域が行う特に先進的かつ他の地域の模範となり、DMO 形成・確立を促進する事業の支援を平成 31 年度事業として実施することとなりました。

平成 31 年 2 月 8 日～3 月 18 日までの公募の結果、全国から 18 団体の応募があり、審査の結果、下記 4 団体を支援することが決定しました。各団体の概要は別紙をご参照下さい。

記

	支援地域名	事業名	問い合わせ窓口
1	一般社団法人 八ヶ岳ツーリズムマネジメント	住民満足度×経済波及 効果分析プロジェクト	DMO 推進室 担当：北島・塚脇 TEL：03-6435-8336
2	一般社団法人 岐阜県観光連盟	「地域観光マーケット」 導入事業	DMO 推進室 担当：北島・塚脇 TEL：03-6435-8336
3	一般社団法人 イーストとくしま観光推進機構 一般財団法人 徳島県観光協会	「Night Time Economy 活 性化へ！」徳島発魅力発信 プロジェクト	DMO 推進室 担当：北島・塚脇 TEL：03-6435-8336
4	一般社団法人 京都府北部地域連携都市圏振興社 (海の京都 DMO)	海の京都 持続可能な産 業文化遺産観光を創る ～食と食文化から観る地 域の魅力～	地域ブランド創造部 担当：森崎・西島 TEL：03-6435-8550

平成31年度 DMO形成支援事業（支援地域事業概要）

団体名	現状と課題	事業内容
一般社団法人 八ヶ岳 ツーリズム マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・“住んでよし、訪れてよし”と“住みたいまち”を官民連携で目指しており、関係者間での合意形成を高く意識し持続可能で豊かな観光地域づくりに取り組んでいる。 ・八ヶ岳観光圏エリアの住民満足度と主観データと客観データから多角的に分析し、具体的な施策につなぐ必要があると考えている。 ・持続的に調査を行うことで、行政や関係諸団体との共有、情報開示、検証を行う。そして市が定期的に策定する総合計画に反映することを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初年度には観光地住民満足度調査と経済波及効果分析（入込客数、来訪者満足調査、経済波及効果分析）を実施し、単年度分析を行いモデル仮説を立てる。 ・調査から対住民施策と対企業施策を抽出する。 ・次年度も観光地住民満足度調査と経済波及効果分析（入込客数、来訪者満足度調査拡大版、経済波及効果分析）を実施し単年度分析と前年比分析を行う。
一般社団法人 岐阜県 観光連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県内の一部地域では「コアデータ」を核に地域の課題解決、観光振興を行う「観光マーケティングサイクルの構築」に取り組んでいる。 ・「観光マーケティング」の必要性、重要性を認識しているものの、取り組みが進んでいない地域も多い。 ・県レベルでの「観光マーケティングサイクルの構築」には県内各地域でデータを活用することのできる人材の育成（地域観光マーケッター）が不可欠である。 ・岐阜県観光連盟が主体となって取り組むことで地域の底上げを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内での観光マーケティングの実施現状と導入状況の調査を実施する。 ・調査をふまえた上で、地域の特性別にカリキュラムを作成する。 ・観光マーケティングが容易に回すことができる仕組みを整備する。 ・作成したカリキュラムを実施し、受講から実施につながるか検証する。
一般社団法人 イースト とくしま観光 推進機構 一般財団法人 徳島県 観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県東部圏域（徳島市、鳴門市等）は近畿圏から1日100便以上の高速バスが乗り入れているが、訪日外国人の利用は少ない。 ・関西国際空港からのアクセスが可能であるにも関わらず、関空からの訪日外国人の四国訪問率は1.1パーセントに留まっている。 ・その現状を克服することが地域の活性化を促す為の喫緊の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繁華街を中心としたエリアを外国人目線で巡る「ナイトウォークツアー」を造成する。 ・在徳島外国人や地元事業者向けにセミナーを行い、旅行者とツアーコンテンツ、ガイドをつなぐプラットフォームを確立する。 ・集客のためにインバウンドを意識したSNSなどのマーケティング手法も実施し、PDCAサイクルを回して商品のブラッシュアップを行い、魅力あるコンテンツに磨き上げていく。 ・ツアー造成やプラットフォームを作成する際にはイーストとくしま観光推進機構と徳島県観光協会が連携し、県と地域との協業の在り方も模索していくこととする。
一般社団法人 京都府北部 地域連携 都市圏振興社 (海の京都 DMO)	<ul style="list-style-type: none"> ・海の京都は、京都府北部5市2町をエリアとし、人口減少、少子高齢化、地域産業も担い手不足など危機を迎えている。 ・京都府域の観光客は京都市内へ集中しており、インバウンド観光客も急増している。京都市内から1～2時間圏内にある本エリアへの誘致を図る目的となる観光コンテンツやストーリーの創造が課題である。 ・この地ならではの食・食文化を活かした官民連携の総合的、一体的なインバウンド観光客受け入れに取り組むことで世界に認められる産業文化エリアし、とりわけ魅力ある食、食文化を中心とすることで、観光地域づくりによる課題克服のきっかけとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「海の京都」産業観光・食、食文化マーケティング・プロモーション（WEBアンケート、海外テレビ放送、英語のストーリーホームページ・リーフレット作成、ツーリズムEXPOジャパン2019出展など） ・「海の京都」産業を創る食・食文化の継承（丹後天酒ツーリズム造成、食文化のブランド情報発信、「海の京都美食キャンペーン」、フォーラムの開催等） ・産業観光に取り組む民間連携と新たなDMOとの連携の仕組み（食と食文化に通じる企業・海外をターゲットとする企業等との連携など） ・広域連携による外国人向け魅力あるテーマの拡大（豊岡DMO・若狭湾観光連盟・森の京都・お茶の京都との連携）